

自立活動学習指導案
(情緒障害)

指導者 広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成27年6月〇日(〇)
- 2 場所 〇〇小学校 通級指導教室(個別指導室)
- 3 児童 第〇学年男児 他校通級
(個別指導:週1回2単位時間, グループ指導:月1回1単位時間)

4 指導方針と指導内容及び本時の目標との関連

本児は,周囲の状況や他者の気持ちを理解することが苦手で,思い込みや勘違いをすることがある。そのためやり取りがすれ違うことがあるが,他者の気持ちや出来事の因果関係を視覚的に示すと,理解しやすい。

対人・社会面では,友達とかかわりたい気持ちはあるが,受身的なかかわりになることや,ぶっきらぼうな言い方をして相手から誤解を受けることがある。事前に「〇〇の場面では□□のように行動するとよい」など具体的な行動の仕方を伝え,本児が実際の場で使えるコミュニケーションの方法を工夫できるようにしていくことが必要である。

認知・言語面については,聞いて理解することが苦手である。また,身近な言葉を知らなかったり,言いたいことを表現する言葉がすぐに出てこなかったりすることがある。そのためイラストや写真などの視覚的な手がかりがあると理解しやすくなる。

運動面については,粗大,巧緻ともに不器用さが見られる。また,思い込みから自分なりの方法で作業を進めてうまくいかないことがあるので,事前に手順を示すなどの確認が必要である。

そこで,下表のとおり3点の指導方針を立て,それに基づいて指導内容を計画し本時の目標を設定した。

指導方針	指導内容	本時の目標
(1) 視覚的な情報を活用し,言語能力を育成する。	新出語句のイメージをもつ。	a 画像を手がかりにして,新出語句の意味を理解し,自分の経験と結びつけることができる。
(2) コミュニケーション能力を育成する。	① 他者の考えや思いを予想する。	b ヒントを元に担当者の好きな食べ物を予想し,理由を述べることができる。
	② 相手の反応や行動を予測して,望ましい言動を考える。	c 「協力ことば」リストを手がかりにして,ゲームで使うとよさそうな言葉を考え,練習の中で使用することができる。
	③ 状況を理解し,相手の気持ちを想像する。	d 図を手がかりに,自分の行動を振り返り,相手の気持ちや状況に気が付くことができる。
(3) 運動能力を高める。	裁縫道具を使って,基本的な手縫いの仕方を身に付ける	e 画像と言葉で示された手順書を手がかりにして,玉結び,玉どめ,なみ縫いのこつを思い出し,簡単な縫い取りをすることができる。

5 本時の学習指導

学習活動3「予想&ヒントクイズ」では、相手の考えや思いを予想することを目的として設定している。ヒントを基に相手の好みを想像して当てるというクイズ形式にし、予想した理由も付け加えることで、他者の視点に立って物事を考えることができるようにしたい。

学習活動4では、月に1回行っているグループ活動の予告をすることで、活動内容をイメージし、適切なかかわり方を考えることを目的として設定している。友達とかかわるときにの好ましい言動について、事前に具体的に考えて練習することで、実際のグループ活動において適切なかかわり方ができるようにしたい。

学習活動5「イメージしよう」では、国語科の教科書に出てくる新出語句の意味を理解し、文章読解の助けになるようにすることを目的として、プリント学習に取り組んでいる。プリントでは、画像の正誤を問うことで、言葉の意味をイメージできるようにしたい。また、身近な例文を考えることで、本児の経験と結びつけることができるようにしたい。

学習活動6では、道具の扱い方や手縫いの基礎を身に付けることで、家庭科の学習に見通しをもって安心して取り組むことができるようにすることを目的としている。本児は、言葉での説明だけでは、道具の扱い方や作業のポイントがわかりにくいとため、画像と短い言葉で手順を示すことで、ポイントを確認できるようにしたい。本児が意欲的に取り組むことができるようにするため、これまで学習した玉結び、玉どめ、なみ縫いを用いて、名前を縫い取る活動を設定している。また、これまでの学習をくり返し行うことで、在学において安心して学習できるようにしたい。

○学習の展開

学習活動	本時の目標	○支援・配慮事項 ☆評価	準備物
1 始めの挨拶をする。	d	○ 担当者と目が合っていないのに挨拶の言葉を使い始めたときには、担当者と息をそろえて挨拶することについて確認する。	
2 学習の予定を確認する。	d	○ 活動に見通しをもつことができるように予定を確認する。 ○ 活動全般において、本児の言い方がきつくなっているときには、状況と担当者の気持ちを伝えるとともに、望ましい言い方を示し、使うことができるようにする。わかりにくいときには、図解して理解を促す。 ○ 望ましい言い方をしようとしているときには、その努力を評価する。	・予定表
3 「予想&ヒントクイズ」をする。 ① ヒントを聞いて、リストの中から、担当者の好きな食べ物や、それを選んだ理由を記入する。 ② 正解を聞き、自分の好みと比較する。	b	○ 「ヒントを基に先生の好きな食べ物を予想しよう」「2回目のヒントまでに正解しよう」というルール表を提示し、確認できるようにする。 ○ イメージをもちやすいように、食べ物リストの画像を提示する。 ○ 他者の視点に立つことができるようにするため、好きだと思ふ理由の選択肢を示したり、ヒントを提示したりする。	・プリント

<p>4 「グループについて」の学習をする。</p> <p>① 前回のグループ活動（自己紹介，風船バレー，協力ドミノ）の写真を見て，自分のよかったところや頑張っていたところを振り返る。</p> <p>② 今回の活動内容を知り，どのような言葉かけや行動をするとよいか考える。</p> <p>③ 協力ドミノの練習を行う。</p>	c	<p>○ 担当者の好みが自分の好みと必ずしも一致しないことを知ることで，人によって価値観が異なることを感じることができるようになる。</p> <p>☆ ヒントを基に担当者の好きな食べ物を予想し，理由を述べることができたか。</p> <p>○ 集団で活動する際の望ましい行動や，他児への適切なかかわり方を意識できるように，本児が実際に望ましい行動している写真を提示する。</p> <p>○ 想定される友達の言動についてロールプレイすることで，対処方法を考えることができるようになる。</p> <p>○ 前回の活動で使用した「協力ことば」リスト（例：がんばれ、ドンマイ、〇〇してもいい。等）を提示し，どのような言葉かけをするとよいか考える手がかりになるようにする。</p> <p>○ 事前にゲームの練習をすることで，考えた言葉を実際に使うことができるようにする。</p> <p>☆ 「協力ことば」リストを手がかりにして，ゲームで使うとよさそうな言葉を考えることができたか。</p> <p>☆ 協力ドミノの練習の中で考えた言葉を使用することができたか。</p>	<p>・写真（前回の振り返りプリント）</p> <p>・「協力ことば」リスト</p> <p>・プリント</p>
<p>5 「イメージしよう」をする。</p> <p>① 新出語句について，2つの画像を見て正しいものを選択する。</p> <p>② 文で書かれた意味を読んで，正しいものを選択する。</p> <p>③ 新出語句を用いた短文を考える。</p>	a	<p>○ 言葉の意味を理解しやすくするため，画像を提示する。誤答して自信を失わないよう，正しい方を選びやすくするため，提示する誤りの画像は，明らかに誤っていることがわかるものにする。</p> <p>○ 意味を表す文の選択が難しいときには，「画像を見てみよう。」などの言葉がけをする。</p> <p>○ 言葉の意味のイメージを広げられるようにするため，自分の経験を想起して短文を作ったり，担当者の短文を読んだりする。</p> <p>○ 短文を考えるのが難しい際には，先に担当者の短文を示す。</p> <p>☆ 画像を手がかりにして，新出語句の意味を理解できたか。</p> <p>☆ 自分の経験と結びつけることができたか。</p>	<p>・プリント</p>
<p>6 「レッツ家庭科修行～名札作り～」をする。</p> <p>① 作り方を確認する。</p> <p>② 準備をする。</p>	e	<p>○ 前回までの学習で用いた手順表を見て，玉結び，玉どめ，なみ縫いのポイントを想起できるようにする。</p>	<p>・手順表（復習）</p> <p>・手順表（名札）</p>

<p>③ 名前の縫い取りをする。 ④ 片付ける。</p>		<p>○ 手順表に注目できるように、現在の作業工程を矢印で示すようにする。 ☆ 画像と言葉で示された手順書を手がかりにして玉結び、玉どめ、なみ縫いのコツを思い出し、名札を作ることができたか。</p>	<p>・裁縫道具</p>
<p>7 終わりの挨拶をする。</p>	<p>d</p>	<p>○ 担当者と目が合っていないのに挨拶の言葉を使い始めたときには、担当者と息をそろえて挨拶することについて確認する。</p>	